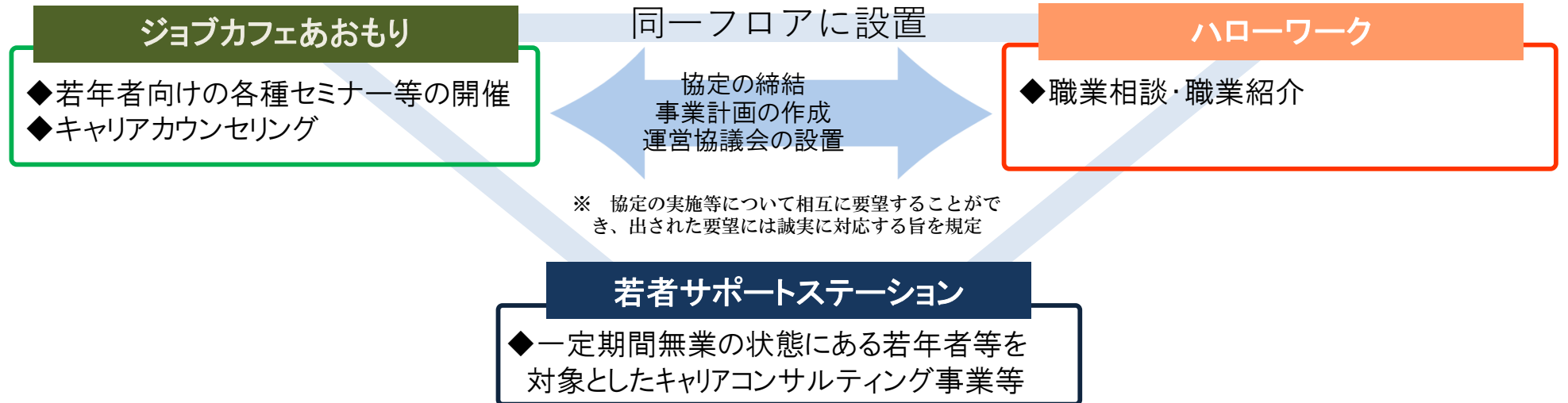


- 「ハローワークヤングプラザ」(国)、「ジョブカフェあおもり」(県)、「あおもり若者サポートステーション」(国)の3施設を「ヤングジョブプラザあおもり」として一体的に運営し、若年者の就職支援の機能強化を図る。
- ※県内3カ所(八戸市、弘前市、むつ市)にサテライトスポットを設置



①総合案内窓口の設置

若年者就職支援施設の窓口を一本化し、来所者の利便性を高めニーズに合わせた誘導を行う。



②チーム支援の実施

一人でも多くの若年者が就職できるよう3施設によるチーム支援を実施する(支援期間:3か月)。

支援計画の作成から支援状況の確認、就職後のフォローまできめ細かな支援を実施。

【対象者】

- ①学卒未就職者、②非正規労働者で正規雇用を希望する者、③長期失業者、④高校中退者 など

③個人情報共有体制の確立

一体的運営による一貫した就職支援を行うため、各施設がそれぞれ保有する求職者情報について、共有化する体制を整備。

④就勝クラブの実施

学卒未就職者等の早期就職を支援するため、若年求職者の就職を短期・集中的に支援する就活対策セミナー「就勝クラブ」を実施。

※仕事探しの実際、できる求人検索の仕方、スキルアップセミナー及び面接対策セミナー

(1) 実施体制

ヤングジョブプラザあおもり

ジョブカフェあおもり

【国委託事業】

若年者地域
連携事業担当
5名

- 統括コーディネーター
兼キャリアカウンセラー 1名
- コーディネーター 3名
- 業務管理員(経理) 1名

センター長 1名

【県委託事業】

統括マネージャー 1名

施設運営・管理 4名

- 業務管理員 1名
- サテライトスポット 3名
(各サテライトスポット 1名配置)

サポートメンバー 6名

カウンセリング事業担当 15名

- カウンセリング業務 12名
(常勤7名、非常勤5名)
- サテライトスポット 3名

スーパーバイザー 3名

総合案内窓口担当 2名
(若年者地域連携事業)

- 就職支援アドバイザー 2名

合計29+8名

あおもりサポステ

- 総括コーディネーター 1名
- 常勤スタッフ 5名

合計 6名

ハローワークヤングプラザ (一体的実施分)

職業相談・紹介担当
4名

- 就職支援ナビゲーター (一体的実施分) 2名

- 職業相談員 (一体的実施分) 2名

合計4名

求人情報提供端末 20台 職業紹介端末 4台を配置

(2) 開館時間

「ヤングジョブプラザあおもり」では、平成24年4月2日から3施設の開館時間を統一し、平日及び土曜日(祝日除く)の8時30分から17時15分までを開館時間としています。

(3) 事業目標と取組状況

	令和7年度事業目標	取組状況(令和7年度3月末時点)
新規登録者数	3,500人以上	3,174人
	(6年度目標) 3,500人以上	(6年度確定実績) 3,456人
チーム支援者数	新規支援者数:70人	新規支援者数:71人
	(6年度目標) 70人	(6年度確定実績) 73人
チーム支援者就職率	84.0%	90.1% (就職者数:64人)
	(6年度目標) 84.0%	(6年度確定実績) 89.3%(就職者数:65人)
紹介就職者数	1,100人	887人
	(6年度目標) 1,150人	(6年度確定実績) 1,018人
就職率	40.0%	38.2%
	(6年度目標) 39.8%	(6年度確定実績) 41.5%
「就勝(しゅうかつ)クラブ」参加者	110人	113人
	(6年度目標) 110人	(6年度確定実績) 115人

ジョブカフェとハローワークのチーム支援による 就職成功例

女性:20歳代 希望職種: 総務・人事
直近の状況:大学卒業後、クレジットカード会社で4年従事

① 抱える課題

- ・神奈川県出身。パートナーが実家の家業を継ぐため、一緒に青森市に引っ越してきた。求人を見ても、土地勘がないため、求人探しに時間を要する。
- ・大学以来の就職活動となるため、応募書類や面接など不安が大きい。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ハローワークにおいては、CLの希望する総務・人事職を中心に就業場所を確認しながら情報提供を行った。
- ・ジョブカフェの応募書類作成支援では、職務の棚卸を行い、人柄や経験が全面に出るようアドバイスをした。
- ・人事職の仕事理解が乏しかったため、jobtag(厚生労働省)を活用しながら理解を深めた。
- ・1度面接選考で不採用になったが、反省点を踏まえ、面接の受け答えについて対策をした。

③ 結果

※支援期間 2ヶ月

人事労務事務職として正社員採用

・1日8時間 シフト勤務週40時間 月給約18万円

男性:20歳代 希望職種:整備・点検
直近の状況:専門学校卒業後、IT企業で2年従事

① 抱える課題

- ・専門学校でプログラミングについて学び、IT企業に就職。
- ・残業が常態化していたことと長時間のデスクワークより、目の不調を感じるようになり退職。
- ・体を動かす仕事を希望するが、未経験のため仕事探しから不安がある。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ハローワークにおいては、求人票の見方、仕事内容を説明のうえ紹介状を交付した。
- ・ジョブカフェの志望動機作成支援では、CLの強みも盛り込むことを提案。
- ・前職のトラウマがあり、一時は就職活動が停滞したこともあったが、励ましや勇気づけを行い、自己肯定感を高めるよう努めた。
- ・面接練習では、初めの頃は声が小さく、目が合わないこともあったが、繰り返し練習することによって、自信を持って話せるようになった。

③ 結果

※支援期間 1ヶ月

整備・点検職として正社員採用

・1日8時間程度 シフト勤務週40時間 月給約16万円

ジョブカフェとハローワークのチーム支援による 就職成功例

男性:20歳代 希望職種:技術職
直近の状況:大学を中途退学後、様々なアルバイトに従事

① 抱える課題

- ・大学を中途退学後、アルバイトを転々としているが将来の事を考えて正社員として働くことを希望
- ・自分に何が向いているのかが分からない。就職活動の経験も無く、何から始めたら良いのかも分からない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・これまでのアルバイトや学校生活での経験を整理。興味・価値観・得意なことを明確化するなど、自己分析を実施。
- ・自己分析の結果から意欲を持って取り組むことができそうな職種をピックアップ。
- ・ヤングハローワークから希望にあう求人を定期的に情報提供し、その中から応募先を決定。
- ・応募書類の書き方、基本的な面接時のマナーを伝え、面談当日まで模擬面接を実施。

③ 結果

※支援期間 3ヶ月

テレビ番組制作会社に技術職として正社員採用

・月給約 17万円

・1日8時間勤務

女性:20歳代 希望職種:調理
直近の状況:短期大学卒業後、調理員として1年勤めた障害者施設支援施設を退職

① 抱える課題

- ・前職が長時間労働が状態化している職場であったことから、調理の現場ではもう働きたくないと考えている。本心では調理の仕事につきたいが前職の経験がトラウマになっている。
- ・学生時代、社会人時代を通じて調理の経験しか無いため、その他に自分にできることが分からない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・自己分析、仕事分析を実施。世の中にどんな仕事があるのか、どんなことに興味や自信を持っているかを整理。
- ・ワークライフバランスを重視したいという気持ちが強いいため、働く上で重視したい事、譲れない条件を明確化。それを叶えることができる求人があるかをヤングハローワークから情報提供。
- ・応募先決定後は、ご自身の強みを効果的に伝える方法を整理。また、ネガティブな印象を与えない退職理由の伝え方について対策を実施。繰り返し面接練習に取り組む。

③ 結果

※支援期間 3ヶ月

病院内保育所の調理員として正社員採用

・月給約 18万円

・1日8時間勤務